



アクティブ隊

大学生ボランティアサークル『Advance』

■群馬大学、高崎経済大学、前橋工科大学、群馬県立女子大学、高崎健康福祉大学の学生を中心としたボランティアサークル。観音山ファミリーパークでのイベントや、(財)青少年会館との連携で、小学生を対象にしたパソコン・クラブ・英語の教室「夢工房」の運営・講師を務める。

☎027-347-8933 / e-mail:advance_g@yahoo.co.jp / 代表:長井雄士

地域で助け合える社会を目指して 前進する大学生サークル

子供を対象にしたさまざまなボランティア活動を行う「アドバンス」。群馬大学や高崎経済大学、前橋工科大学、県立女子大学、高崎健康福祉大学の学生が中心となった学生ボランティアサークルだ。

発足は2002年。高校時代から仲のよかった県内の大学生数人が「ボランティア活動を通して、みんなが気持ちよく暮らせる地域をつくりたい」と、立ち上げた。

「最初は、遊び半分だったのですが、実際の活動を通してその重要さに気がかされたようで、今では真面目に取り組んでいます」

そう笑顔で語るのは、学生たちの取りまとめ役を務める代表の長井さん。ボランティアを通して、学生たちが自身が成長していく姿を、「親」のような気持ちで見守っている。

活動の主な内容は、観音山ファミリーパークでの海外文化交流イベントや、(財)青少年会館と連携したパソコン・

クラブ・英語の教室、「夢工房」の運営だ。

去年の6月には、観音山ファミリーパークで「世界の国からこんにちは」イベントを開催。「ユアラがいる国は?」「ピラミッドはどの国にある?」などの世界に関する三択クイズで始まり、英語かるた大会や伝言ゲームなどで盛り上がった。

お兄さん、お姉さんが指導してくれる「夢工房」は子供たちに大人気で、どの教室も定員を大幅に上回る応募があった。

「10回のコースを通じて、子供たちが段々心を開いて、学生たちと仲良くなっていく姿がほほえましかったですね。最初はぎこちなかった学生たちも、青少年会館の人たちに指導してもらいながら、子供への接し方を学んだようです」

同サークルの掲げる目標は3つ。①地域の結びつきを強めること、②ボランティアを通して人として成長すること、③ボランティア文化を広めること。

地域での「コミュニケーション」を促進し、お互いに助け合える関係を築くことで、安心して暮らせる社会を作ることが夢だ。

「学生たちから働きかけることによって地域に貢献し、そうしてお兄さん、お姉さんとの楽しい思い出を作った子供たちが大きくなったときに、今度は自分たちが地域に貢献してあげられるようになる、そんな良い循環ができればいいですね」

同サークルでは、誠実に活動してくれる大学生ボランティアを募集中。やりがいのある活動を探している大学生



お兄さん、お姉さんと過ごす楽しいひととき

はもちろん、この春、新しく大学生になる人も、人間として前進(advance)できるボランティア活動に参加してみませんか?